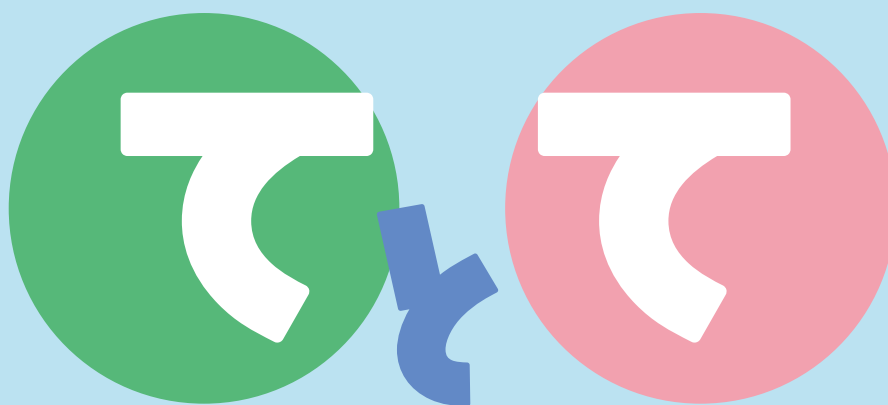


ひょうごの子育てを応援する



vol.16
2021-①

公益社団法人 兵庫県保育協会

特集
子どもたちに
とって必要な
新しい
生活様式を
考える



「子どもたちにとって必要な」 新しい生活様式を考える

新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化は、乳幼児の脳と心の発達に大きな課題を投げかけています。京都大学大学院教育学研究科教授の明和政子さんに聞きました。



新しい生活様式と ヒトの育ちとの関係

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行から一年が経とうとしています。私たちの日常はあっという間に奪い去られ、「新しい生活様式（2020年5月4日 新型コロナウイルス感染症専門家会議による提言）」の実践が国民に求められています。その具体例として、厚生労働省は、他者と身体的距離をとる、密をさける、会話は真正面をさける、マスクを着用するなどを掲げています。

コロナ禍での新しい生活様式は、長期化の様相を呈しています。感染症の拡大を最小限に食い止めるために、これらの実践は大切です。しかし、生物としてのヒトの脳と心の発達

を研究している者として、こうした環境の中で子どもたちが育っていく現実には大きな不安を憶えずにはいられません。ヒトは、他者との「密・接触」を基本とする社会的環境のなかで生存、進化してきた生物だからです。

この見方から、ヒトの育ちについてお伝えしたい点が3つあります。**①ヒトを含む哺乳類動物は他者（養育者）との身体接触なしには生存できない、②とくに乳幼児期の脳の発達には他者との身体接触が不可欠である、そして、③乳幼児期の経験はその後の脳と心の発達に直接的に影響する、こと**です。現在の新しい生活様式のもと、ヒトの育ちの根幹を重視しながら、私たちはどのように子どもを育てていくことができるのでしょうか。

子どもにとっての 仮想空間でのやりとり

コロナ禍で、オンラインによる（仮想空間）コミュニケーションが日常に浸透してきました。今後、感染症の拡大が収束したとしても、このコミュニケーション様式は拡大し続けるでしょう。オンラインでのコミュニケーションは、大人にとっては便利な面がたくさんあります。しかし、環境の影響を強く受けながら脳を発達させていく子どもたちにとっては、話は別です。仮想空間でのコミュニケーション経験は、現実空間での身体を介したやりとりとは全く異なるからです。現実空間では、他者との身体接触によってセロトニンやドーパミン、オキシトシンなどの神経伝達物質が脳内

から放出されます。それは、身体内部に「心地よい感覚」を生じさせます。他者とのコミュニケーションに心地よさを感じる脳と心が、他者と身体接触を経験することで発達していくのです。他方、仮想空間でのやりとりは視聴覚情報に偏っています。これらは、光や音などの強い刺激はもたらしませんが、身体内部に心地よさを感じさせるものではありません。

マスクの着用が 乳幼児に与える影響

コロナ禍で育つ子どもたちの脳と心の発達について、もうひとつ懸念していることがあります。マスクを着用する他者との日常が、乳児の脳と心の発達に与える影響です。生後8か月頃から、乳児は他者の多様な表情を区別し、感情を理解する心を発達させます。また、発話者の目と口の動きを経験しながら言語を獲得していきます。脳の発達において環境の影響をとくに受けやすい特別の時期を

「感受性期」と呼びますが、乳幼児期は視覚野、聴覚野の感受性期にあたります。他者の表情がマスクで覆い隠されている日常が長期化すると、この時期の脳と心の発達に何かしらの影響が生じるリスクは否定できません。マスクをしていても目でコミュニケーションできると考えるのは、大人目線の発想でしかありません。

ヒトの育ちの前提を ふまえた新しい生活様式へ

ウイルス感染が長期化する中、感染対策と両立させながら、どのような環境を子どもたちに提供していくことができるのか。この問題を真剣に考えなければいけない時期が来ています。たいへん難しい問題ではありますが、それを考える土台となるのは生物としてのヒトの育ちの前提、子どもの脳と心を育む環境の本質を理解することにほかなりません。できるだけ、できる範囲において、他者との身体接触を経験できる時空間を子ども

たちに提供していきたい。そのためには、多人数でなくても、それぞれの子どもにとって「安心できる特定の他者」をみきわめ、必要なときにいつでも繋がることのできる機会をつくることが大切となるでしょう。マスクをした他者との日常経験についても、子どもたちと対面する保育場面では透明素材のマスクをできるだけ着用する、家庭内でも子どもたちに表情全体を見せる機会を意識的に増やすことも有効でしょう。

保育現場には、重要かつ有効な経験知が豊かに蓄積されています。人間科学の知と融合させることで、コロナ禍だからこそ大事にすべきこと、それをどのように実践できるかを具体的に考えることができます。それは、大人にとってではなく、「子どもたちにとって必要な」新しい生活様式の提言へとつながるはずです。



京都大学大学院
教育学研究科教授
明和 政子 氏
(みょうわ まさこ)

PROFILE

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（教育学）。京都大学霊長類研究所研究員、京都大学大学院教育学研究科准教授などを経て、現在、同教授。日本学術会議連携会員。ヒトとヒト以外の霊長類を胎児期から比較し、ヒト特有の脳と心の発達とその生物学的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野を世界にさがかけて開拓した。単著に『まねが育むヒトの心』（岩波書店）、『ヒトの発

達の謎を解く—胎児期から人類の未来まで』（筑摩書房）など多数。2016年放送のNHKスペシャル2編『ママたちが非常事態!?～最新科学で迫るニッポンの子育て1・2～』、2017年放送の『ニッポンの家族が非常事態!?～第1集わが子がキレる本当のワケ～』等の監修・出演など、現代社会の子育てに関する様々な問題を、最新の科学的知見から理解する活動にも力を注いでいる。

生き生き働く保育者

子どもたちの成長を支え、見守る保育者。
たくさんの夢を持ち、日々子どもたちと
一緒に成長している新人の皆さんを紹介します。



保育者Voice!

“自分の夢を叶えた今…”

私は幼い頃から子どもがすきで、保育士になりたいという夢をずっと持っていました。今は夢が叶い毎日子どもたちの笑顔と接し、身近で成長を感じることが出来ます。やりがいもあり保育士になってよかったと思っています。

毎日の生活のなかで不安になることもあります。私自身がどんな時でも笑顔を絶やさないようにし、一人ひとりの子どもの思いを受け止め共感し一緒に楽しむことを大切にしながら、日々保育を頑張っています。これからも困ったことやうれしいこと、楽しいことをたくさん経験し、保育士として子どもたちと一緒に成長していきたいと思っています。

園長先生からのメッセージ

いつも明るく元気に3歳児を担任し、一人ひとりの子どもたちを大切に思い、気持ちに寄り添い、しっかりと向き合っています。仕事熱心でいろいろなことに努力するがんばりやさんです。これからも子どもたちと共に成長してくれることを期待しています。

おいも
とったぞー！



上手に
できてるね。



わたしの好きな歌♪

うちゅうじんに
あえたら
(～空を飛びたい～！
シュ～♪～)

●丹波篠山市／
認定こども園 ささやまこども園

保育士
ほそかわ かなえ
細川 叶絵さん

保育者年数・3年目

“ 保育者Voice!

子どもたちに 元気をもらって”

私が保育士を目指したのは小学生の頃でした。それから保育系大学に通い、やっとなれた保育士。実際に現場に入ってみるとうまくいかないことも多く、保育士に向いていないのかも…と悩むこともありましたが、でもどんな時でも「せんせいだいすき!」「せんせいいっしょに遊ぼう!」と笑顔で伝えてくれる子どもたちの姿に何度も元気をもらい、まずは子どもたちと一緒に楽しむことを自分の一番のねらいにして日々保育しています。今でも迷ったり落ち込んだりすることもあります。子どもたちの笑顔のためにこれからも頑張っていきたいと思っています。

園長先生からのメッセージ

2年目からはクラスリーダーを任せ、現在3年目になります。元気いっぱい、常に子どもたちと向き合う井方先生に感謝しております。これからも子どもたちとの関わりを通してたくさんのことを学んでほしいと願っています。

いっしょに
すべろう!



たのしいね!



わたしの好きな歌♪

スマイル
(～なみだを
ふ～い～て～♪～)

●芦屋市／
しおさいこども園

保育教諭
いがた ちか
井方 千加さん

保育者年数・3年目



さあ
出発しよう～!



じょうずに
通せたね!

わたしの好きな歌♪

きみたち
今日からともだちだ
(～は は はで
はじめまして♪～)

●洲本市／
堺保育園

保育士
たむら ちなみ
田村 智菜美さん

保育者年数・3年目

保育者Voice!

“子どもたちと毎日楽しく!”

保育士3年目で初めて年長の担任になりました。年長は行事が増えたり、小学校との接続があったりと私自身初めての経験が多く、毎日手探り状態です。もちろん不安もあります。しかし、日々子どもたちと過ごしていくなかで、子どもたちの成長が見られた時はとてもうれしいですし、やりがいを感じます。また子どもたちから学ぶことや支えられているなと感じることもたくさんあります。

今年はコロナウイルスの影響で、なかなか例年通りとはいかず、制限も多いですが、今できることを子どもたちと一緒に思いきり楽しみ、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

園長先生からのメッセージ

初めての5歳児担任で、戸惑うこともたくさんあるようですが、前向きな姿勢で個性豊かな12名の子どもたちと接しています。子どもの良さを認めながら、どの子にも明るく笑顔で接することができる田村先生。これからも一人ひとりを大切にできる先生でいてください。

保育者レポート

笑顔 み～つけたっ！

保育所・認定こども園での
子どもたちの様子を
紹介します。

よいしょ こらしょ くさすべり

秋の遠足で瑞ヶ池公園に行きました。公園内の落ち葉やどんぐりをたくさん拾った後は、土手で草すべりをしました。持参した段ボール紙をお尻に敷いて、GO！初めはどうするの？という感じでしたが、す



伊丹市／すすくキッズ保育園

すぐにコツをつかんで滑りやすい場所を探したり、足の使い方を工夫したり…と何度も土手を登って、滑って、大笑い的一天でした。

どこが
すべりやすい
かな～

おべんと おべんと うれしいな♪

月に一度のお弁当日は、朝から足取りも軽く嬉しそうな子どもたち。「おなかすいたぁ」と、お弁当を心待ちにする声も聞かれます。昼食になると、「みてみて～!」と見せ合ったり、何を食べようかと考えたりする姿もあります。お家の方に作ってもらったお弁当は特別なおいしさで、いつも以上に子どもたちの笑顔が輝いていました。



養父市/広谷こども園

いただきま～す！

絵本大好き!!

1歳児クラスでは、お昼寝起きに絵本を見るのが習慣になっています。4月当初は泣いていたお友だちも、かわいい笑顔がたくさん見せてくれるようになりました！食べ物の絵本が大好きで、お友だちと一緒に「あーん!」と食べる真似をして楽しんでいます。これからもたくさん絵本を見て楽しもうね！



猪名川町／星児園セタ

いちご、
おいしいね～！

今日はどこ行く～？

園庭の砂場でせっせと椅子を運びながら何か始めました。上手に椅子を並べ、どんどんとお友だちが集まってきます。「何してるの?」と聞くと「バスに乗ってお出かけするねん」と、とても楽しそうに準備をしています。みんなで話し合い運転手や行き先を決めていました。「みんなでUSJ行ってくる」と満面の笑みで出かけて行きました。



明石市／すみよし保育園

USJへ
レッツ ゴー!!

栗み～つけた!

さわやかな秋晴れの日、散歩に出かけ、地域の方の栗林で栗拾いをさせていただきました。「栗、見～つけた!」ただ「痛いっ!」栗のイガがチクチクして、すぐに手から放してしまいました。すぐ近くでも「栗、見～つけた!」今度は痛くなかったようで大喜びです。目をキラキラと輝かせながら見せてくれました。拾った栗は、園に持ち帰って美味しくいただきました。



丹波篠山市／たき認定こども園

くりい～!

おさんぽ だ～いすき!!

おさんぽが大好きな子どもたち。「今日はおさんぽに行くよ!」の一言で子どもたちは目をキラキラ輝かせ帽子と靴を用意して、「出発進行!!」到着したのはコスモス畑。自分たちよりも大きなコスモスと背比べをしたり、「ど～こだ!」とかくれんぼをして遊びました。そしてコスモスを1輪ずついただき、ギュッと大切に握りしめて帰りました。



加西市／多聞こども園

コスモス畑で
ハイチーズ♪

じしゃくって、ふしぎ!

ゆり組(5歳児クラス)の子どもたちは、毎月、空気・光・音などに直接ふれ、それらが引き起こす不思議な科学の世界を楽しんでいます。今回は、じしゃくの目に見えない力が、もの(クリップなどの鉄製のもの)を引きつけたり、じしゃく同士が反発し合って片方のじしゃくが浮き上がったっている現象に夢中になって、あれこれと試している姿が見られました。



福崎町／姫学こども園

うわっ、おもしろ～!
クリップが
ひっぱられる～!

こっち向いて!一緒にあーそーぼ!

10月から入園してきた0歳児の男の子。色々なものや遊具に興味をもち、触って振って落として探索遊びをしています。砂をつまんでバラバラと落としているところに1歳児の女の子が「なにしてるの?」と顔をのぞきこんで話しかけていました。4月は小さい子がいても一人遊びが中心でしたが、小さい子たちと触れ合う機会が多い中で少しずつ興味をもつようになってきました。「いっしょにあーそーぼ!!」「おくちにいたらだめよ～」小さな先生のようにでした。



朝来市／ひまわりこども園

すごい!
じょうずだね!

秋の味覚!焼き芋を食べたよ♪

実りの秋を迎え、畑のサツマイモもどっしりと大きくなりました。芋掘りでサツマイモの収穫を楽しんだ後は、焼き芋作りにもチャレンジ!濡れた新聞紙を芋に巻き、燃やした粗糲あらめかの中でじっくり火にかけました。粗糲あらめかで焼いた芋はふかした芋みたいにほくほくで、めかの風味もほのかに香り、とてもおいしかったです。畑で焼きたてをいただきました♪



小野市／下東条中央保育園

おいしい～♪

自然の中でみつけた宝物!

地域の小学校にある「健康の森」に出かけ、自然遊びを楽しみました。松ぼっくりや大小さまざまなどんぐりをたくさんみつけて、夢中で拾いました。どんぐりのお尻の部分に穴をあけてもらい、爪楊枝をさしてどんぐりこまを作りました。早速こま回しに



たつの市／揖西中こども園

チャレンジ!友達と見せ合ったり誰のこまが長く回るか競ったりして大いに盛り上がりました。

誰のこまが
長く回るかな?

秋の実りに感動!

散歩で、重そうにたくさん実った柿の木を発見、たくさんの実に子どもたちもビックリでした。「おいしそう～」「食べたいな～」「持って帰りたい!」と散歩中は「柿」の話でにぎやかでした。

翌日、「柿の実」づくり、自分で製作した柿に大満足…みんなの作った作品で積み木のように「柿タワー」づくりをスタートし、何度も何度も挑戦して崩れては繰り返して、やっと柿タワーが完成しました。



洲本市／幼保連携型認定こども園おおの

あの木みたいに
いっぱいだね～♡

子どもたちに人気のメニュー

丸ごと食べられるよ!

ししゃものクラッカーフライ



サクサクで
栄養満点

材料(5人分)

ししゃも……10尾
クラッカー……10枚
パン粉……1カップ
小麦粉……適宜
卵……1個
油……適量

作り方

- ①ししゃもにうすく小麦粉をまぶす。
- ②溶き卵をつける。
- ③クラッカーを細かくくだいて、パン粉と合わせて衣にする。
- ④180℃の揚げ油で全体がこんがり色づくまで揚げる。

◎提供: 洲本市／広石保育園



野菜がたっぷり

根菜サラダ



よく噛んで
食べられる!

材料(5人分)

乾燥大豆……20g
レンコン……1つ
ゴボウ……1/4本
ニンジン……1/4本
キュウリ……1/2本
サツマイモ……1/2本
ごま……8g

調味料

マヨネーズ……大さじ2
酢……小さじ2
しょう油……小さじ1
塩、コショウ……適量

作り方

- ①乾燥大豆をやわらかくなるまでゆでる。
- ②野菜をサイコロ状に切っておく。
- ③切った野菜はやわらかくなるまで蒸すかゆでる。
- ④すりごまを作っておく。
- ⑤全ての具を混ぜ合わせ、調味料を加えて完成!

◎提供: 宍粟市／山崎若葉保育園

みんな大好き! みんなで遊ぼう! 手作りおもちゃ



「わくわくピンボール」

玉ころがしや、どんぐり迷路などを作って楽しんでいる子どもたちの様子から、小さい年齢の子どもたちも一緒に楽しめるおもちゃを作りました。

年齢に応じて、点数や花まるなどにかえて遊んだり、パターンを使ったり、手で投げるなど、遊び方を工夫して楽しんでいます。友だち同士でボールが入る様子をじっと見守ったり、入ると「はいった!」と皆で手を叩いて喜んだり、異年齢児で関わるほほえましい姿が見られます。

◎提供: 豊岡市／きよたき認定こども園

[vol.16] 2021-① 2021年3月1日発行

発行: 公益社団法人 兵庫県保育協会 啓発広報委員会

兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1番1号 兵庫県福祉センター内

TEL078-242-4623 FAX078-242-1399

メール hokyo@fancy.ocn.ne.jp ホームページ <https://www.hyogo-hoikukyokai.or.jp/>

保育協会ホームページと、
これまでの「てとて」はこちら
からご覧いただけます。

